

# 相模原市感染症情報

2023年10月



## 今月の注目疾患：感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)

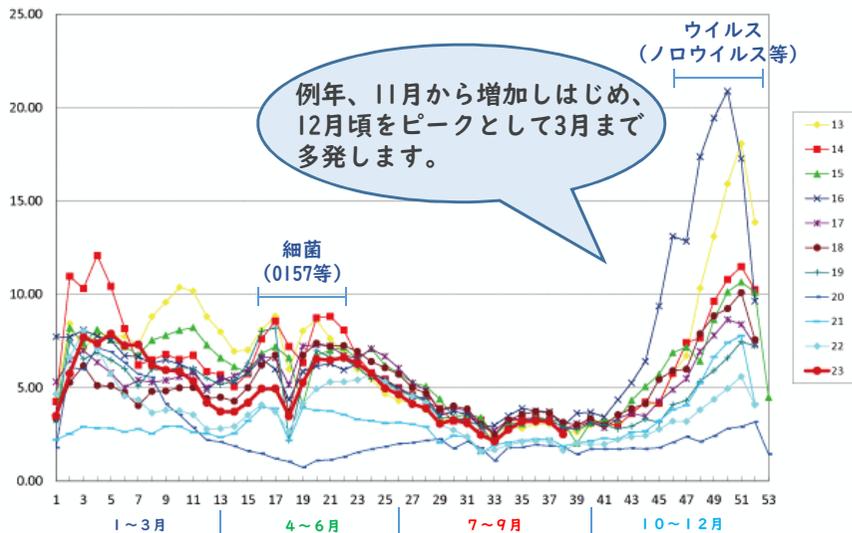
感染性胃腸炎とは、主にウイルスや細菌などの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。特に冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の発生が多く報告されています。

症状：吐き気、おう吐、発熱、腹痛、下痢など

健康な方は軽症で回復しますが、小児や高齢者などは重症化や、おう吐物を気道に詰まらせて死亡することがあります。

☆夏は細菌性、冬はウイルス性が主な原因となります

感染性胃腸炎の過去10年間との比較



引用：NIID国立感染症研究所 HP

治療法：ウイルス性の場合、特効薬はありません

感染後は脱水にならないよう  
こまめに少量ずつ水分補給をしましょう



## 【おう吐物・ふん便は正しく処理しましょう】

集団感染の大半は、施設内部でヒトからヒトに感染（二次感染）して広がります。汚物は乾燥する前に処理を済ませることが大切です。

→乾燥するとウイルスが空気中に舞い上がり、二次感染につながる恐れがあります。

### 【処理手順】

～おう吐物・ふん便の処理～

- ①マスクと手袋を着用し換気する
- ②おう吐物・ふん便をペーパータオル等で静かにふき取る
- ③広い範囲を塩素系消毒液0.1%を染み込ませた布や新聞紙で10分浸す
- ④最後に必ず水拭きをする

～処理後の汚物等は～

- ①処理した汚物はビニール袋に入れ、汚物が十分に浸る量の塩素系消毒液0.1%に浸す
- ②密封して破棄する

塩素系消毒液は素手に付いたりしないよう  
取扱いに注意してください

塩素系消毒液0.1%  
=水500mlに市販の塩素系  
消毒液 (5%)※キャップ2杯分

ドアノブやおもちゃなどの消毒の際は、  
塩素系消毒液 0.02%  
=水500mlにキャップ1/2杯分(5%の場合)  
を使用してください

※市販されている塩素系消毒液は  
それぞれ塩素濃度が異なるので  
必ず確認して使用してください



手洗い・消毒をしっかり行い感染予防に努めましょう！



相模原市 感染症情報センター



発行：相模原市衛生研究所

★相模原市感染症情報センターでは、毎週感染症に関する情報を掲載しています